

大沢田

おお ぞう た

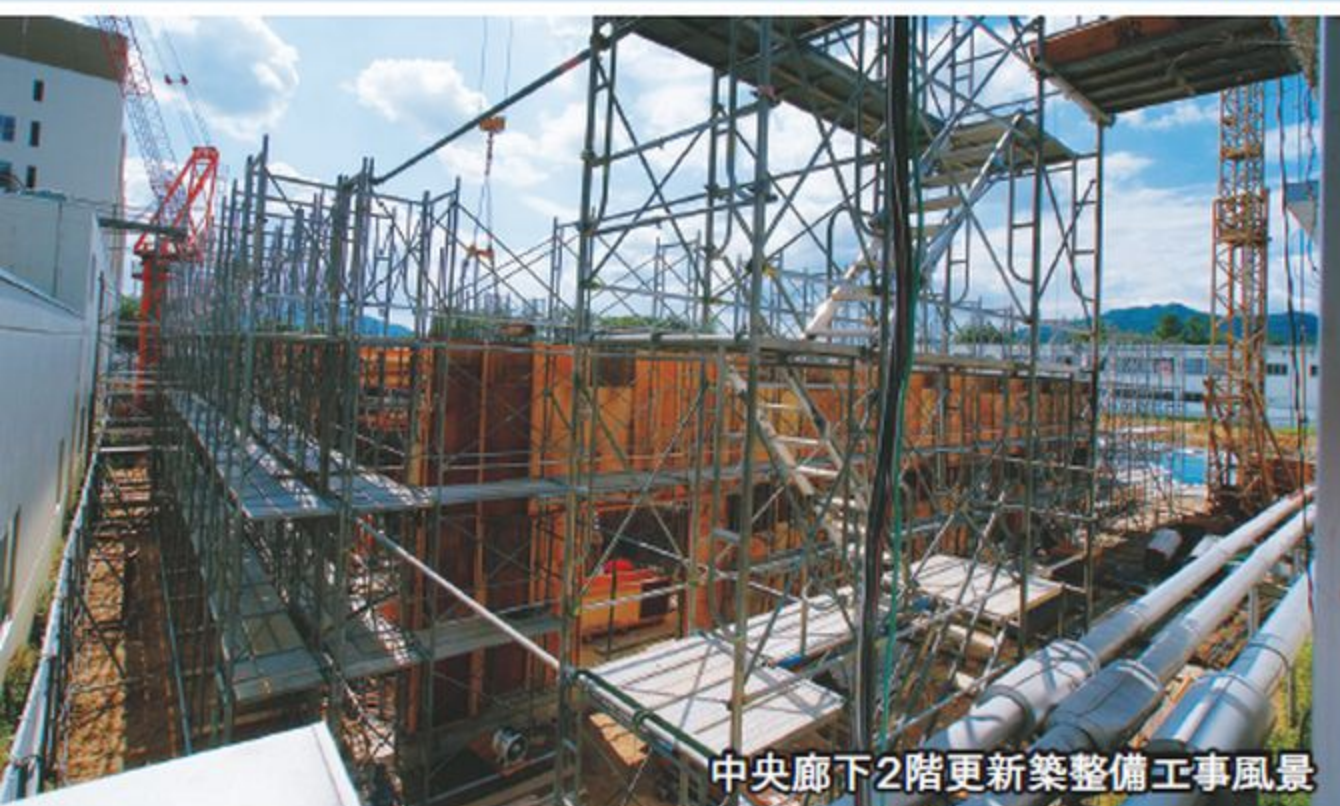
大沢田の名は、病院前にある大沢田池に由来します。古くは大蔵田池と言われていましたが、今では大沢田池の呼称が一般的になっているようです。



新外来診療棟イメージ図(外観)



病棟屋上更新築整備工事風景



中央廊下2階更新築整備工事風景

事務部長 宮本一男
トピックス

病院機能評価受審

～更なる改善を目指して～

目次

病院機能評価受審～更なる改善を目指して……………	1	「患者さんのご意見用紙」と「対応内容」について……………	5
東広島医療センター 呼吸器外科の紹介……………	2	「ふれあい看護体験2011」を開催して……………	6
新外来診療棟工事進捗……………	3	外来診療担当医表……………	7
「健康フェア2011」を開催して……………	4		
“七夕”に願いを込めて……………	5		

病院機能評価受審

～更なる改善を目指して～

事務部長 宮本 一 男

当院は、来年6月に病院機能評価Ver.6を受審することが決定しております。前回は6年前の平成17年6月にVer.4を受審しました。Ver.5を飛び越えてVer.6を受審することに疑問を持たれる方もいらっしゃると思いますが、当院は現在「外来管理診療棟」の更新築を行っているため、更新日の延長が認められVer.6の受審となりました。

病院機能評価は、改めて申し上げるまでもなく、病院が組織的に医療を提供するための基本的な活動（機能）が、適切に実施されているかどうかを評価する仕組みですが、病院機能評価機構では、利点と効果を以下のとおり示しております。

- ①優れている点や改善すべき問題点が評点と評価所見により具体的に示され、病院の現状を客観的に把握することができる。
- ②評価を受けるための準備が改善のきっかけとなる。
- ③効果の上がる具体的な改善目標を設定することが可能となる。
- ④指摘されることにより、問題点について共通した認識を持つことができる。
- ⑤審査結果報告書により問題点が指摘され、その改善の方向が明確となる。
- ⑥認定証を院内に掲示することにより、医療に対する信頼を向上させることができる。

つまり「改善」がキーワードとなります。職員一人ひとりが「病院の改善」という目的意識を持って取り組む必要があります。

今後は副院長・看護部長・事務部長の各領域別のリーダーを中心として、自己評価調査票による現状分析を皮切りに、改善項目の洗い出し→改善策の立案→改善の実施を経て、病院機能評価機構の評価を受けることとなります。

病院機能評価を受審するからには認定を受けることは大切ですが、病院機能評価は改善のプログラムであり、受審を機にどれだけ病院をより良くできたかという点に受審の価値と意義があります。また、当院が真に地域に根ざし、安心・安全、信頼と納得の得られる医療サービスを提供すべく、常日頃努力している病院であると証明出来る絶好の機会でもあると考えます。

来年2月には周産期病棟を含めた新しい外来管理診療棟での診療がスタートし、今年度末までには研修棟も完成します。これで当院の永年の懸案であった建物の整備はほぼ完了しますが、運営（活動）面においても地域の中核病院であり続けるために当院のチーム力を発揮し、受審までに残された10ヶ月を「病院の改善」に取り組んでいただきますようお願いいたします。

東 広 島 医 療 セ ン タ ー

呼 吸 器 外 科 の 紹 介

呼吸器外科 医師 赤 山 幸 一

一般の方はあまり聞き慣れない診療科かもしれませんが、呼吸器外科は医学的な表現では「肺・縦隔・胸壁・横隔膜の疾患の外科的治療」を行う、わかりやすく言えば「胸の病気の手術」を行う科です。広島県内にも呼吸器外科を標榜する病院が増えてきましたが、当院には数十年前から存在し、県内でも伝統ある呼吸器外科の1つです。途中、医師の交代などがあり、2005年に柴田が2008年に赤山が赴任し今の2名になりました。手術件数は2004年に年間約40例であったのが、2010年には年間120例近くになりました。これは東広島・竹原地域で「胸の病気」が急に増えた訳でなく、それまで遠方の広島市内や呉へ手術を受けに行かざるをえなかった患者さんが、「療養所」から「医療センター」になって体制の整った当院で手術を受けられるようになったためと考えます。当科では手術の約70%を傷が小さく体の負担の少ない胸腔鏡手術で行う一方で、アスベストが原因の悪性胸膜中皮腫に対する大がかりな手術も行っており、呼吸器外科で行うほぼ全ての手術に対応しています（一部小児の特殊疾患は除く）。近隣で唯一のがん拠点病院として、特に肺癌や縦隔腫瘍などを重点的に診療しており、呼吸器内科、放射線診断・治療科、病理部がある当院では、広島市内・呉の大病院と同じレベルのがん診療を行っています。一部の大病院にありがちな、手術が終わって退院した患者さんのその後の面倒は見ないという態度でなく、当院で手術を受けられた患者さんに何かあれば、かかりつけの先生と協力しつつ、できる限りの対応をさせていただきます。手術前には広島市内や呉の病院に行くのが苦にならない人でも、手術を受けられた後は自動車・鉄道・バスを使って遠方へ通院するのは大変なようです。病院選びには様々な要素がありますが、「胸の病気の手術」に関しては病院への距離というのも重要な点と考えます。当科の2名とも日本呼吸器外科専門医合同委員会認定の呼吸器外科専門医で、また当院は県内に7つしかない同委員会認定の基幹施設の1つです。マスコミ受けする派手な宣伝や診療は行っていませんが、地域の皆様のお役に立てるように地道に努力して参りますのでご支援の程よろしくお願い申し上げます。



呼吸器外科 部長
柴 田 諭

日本外科学会専門医、指導医
日本胸部外科学会認定医・正会員
日本消化器外科学会認定医
日本がん治療認定医機構暫定教育医・認定医
呼吸器外科専門医

• The best doctors™ in Japan 2010-2011
平成2年広島大学卒
平成17年4月より当センター勤務



呼吸器外科 医師
赤 山 幸 一

日本外科学会専門医
呼吸器外科専門医
平成10年広島大学卒
平成20年4月より当センター勤務

新外来診療棟工事進捗

管理課 庶務係長 岡垣 哲也

工事が順調に進んでおります。下記のとおり状況を紹介します。



▲新病棟の屋上から撮影しました。



▲ヘルメットは必須です。



▲杭打ちの状況です。



▲中央廊下2階と新外来棟の2階は高さが合わず、手術室の高さと合うよう設計されているそうです。



▲売店横駐車場に設置した現場仮設事務所です。



▲狭いところも丁寧に案内していただきました。



▲中央廊下2階からの撮影



▲高くそびえ立つクレーン



▲病棟屋上からの撮影



▲中央廊下2階からの撮影



▲病棟屋上からの撮影

そして8月31日時点の様子

「健康フェア2011」を開催して

ICUCCU 副看護師長 手島美香

5月14日(土) 10時から16時までフジグラン東広島にて、「健康フェア2011」を開催しました。特設コーナーには、血圧測定・超音波骨密度測定・体脂肪測定の測定・健康相談・栄養相談のブースに加え、今年新たに運動相談、お薬相談、記念撮影コーナーを設けました。また、体験コーナーでは毎年恒例の妊婦体験も実施していききました。

参加延べ人数は、651名とたくさんの方に参加していただき、地域の方々の健康に対する関心の高さを改めて感じました。参加された方の中には「毎年楽しみにしている。」と話される方もおられ、昨年の結果を持参された方もおられました。

「気軽に健康相談」のコーナーでは参加者の方から「誰に聞いていいかわからないし、病院まで行くまでではないけど、気になっていた。このような機会があつてうれしい。」という声も聞かれ、気にはなっても病院に足を運んでまでは…と思っている方もおられることを知り、地域に出向いて健康相談をして行くことの大切さも感じました。

今年は催し物として、実施した子供記念撮影コーナーが大変好評でした。たくさん家族連れや子供さんの参加があり、着替えや撮影の場面で多くの笑顔が見られました。その笑顔によって私たち職員も笑顔に溢れ、楽しく充実した1日を過ごすことができました。記念撮影には聴診器を撮影の小道具に準備し、親子に手渡すと「これ本物?」「ドキドキ聞こえる!!」「ぐるぐるいってる!」など親子で聴診器を当て合い、身体からの音に感動する姿があり、聴診器を日常で使っている私には新しい発見でした。

健康フェアを開催して、地域の方と触れ合うことで病院の中では得られない貴重な体験をすることが出来ました。今後も、病院の行事として「健康フェア」を開催し、地域の方々の健康への関心が高まるよう支援していきたいと思ひます。

健康フェア2011

参加人数

血圧測定	134名	栄養相談	35名
体験コーナー：妊婦体験	3名	お薬相談、血糖測定	73名
体脂肪測定	125名	運動相談	29名
骨密度測定	152名	子供記念撮影コーナー	70名
健康相談	30名	合計	651名





“七夕”に願いを込めて…

1病棟 看護師 荒谷 有紀

7月7日は七夕の日。「たなばた」または「しちせき」とも読まれています。古くから行われている、日本のお祭り行事で、五節句のひとつにも数えられています。織姫と彦星の伝説のひとつは有名です。離れ離れになってしまった恋人、織姫と彦星が“天の川”を越えて再会できる、年に一度の日です。

七夕といえば、願い事を書いた短冊を笹の葉に掛ける風習があります。小さい頃に学校行事や家庭で短冊に色々な願いを書いて飾った思い出がある人も多いのではないのでしょうか。

1病棟では、1年目の看護師が中心となり七夕の笹飾りを用意しました。管理課の方のご協力のもと笹を準備して頂き、デイルームに飾りました。スタッフや患者さんと共に笹飾りを楽しみ、とても華やかな七夕飾りが完成しました。

当病棟は小児からご高齢の患者さんまで幅広い年齢層の方が入院しておられます。七夕飾りには昔からある色とりどりの折り紙で作った飾りつけから、手書きのアンパンマンやバイキンマンなど小児が視覚的にも楽しめる可愛い飾りつけにしました。小さい子供はキャラクターの飾りに喜んでいました。また、入院のほとんどを病棟で過ごされている患者さんは、七夕飾りを見て「きれいだね。」「もうこの季節になったんだね。」と四季を感じられていました。

短冊に書かれた願い事には「元気になって小学校に行けますように。」「おばあちゃんが早く元気になりますように。」「夫が元気になって一緒にまた食事ができますように。」と願い事ひとつひとつに患者さんやご家族の心からの願いが込められていたように感じます。

面会に来られた方が七夕飾りの前で足を止め眺めていらっしゃる光景も目にしました。季節の行事を通し患者さんにご家族の楽しそうな笑顔や一生懸命短冊を書かれている姿をみて、季節行事を通し家族の絆の大切さを感じました。

皆さんが短冊に込めた願い事が叶いますように…。



「患者さんのご意見用紙」と「対応内容」について

庶務係長 岡垣 哲也

【ご意見内容①】

医事の窓口に老眼鏡がないので不便です。



【対応内容】

医事②番窓口（再診受付）と③番窓口（入院受付）に設置いたしました。

【ご意見内容②】

自動再来機を操作する際に杖が倒れるので立てかけておくところがほしい。



【対応内容】

杖置きを3台の自動再来機それぞれに設置しました。

「ふれあい看護体験2011」を開催して

副看護部長 三浦 妙子

5月12日のフローレンスナイチンゲールの誕生日に因み制定された「看護の日」を記念して、各病院では様々な行事が催されます。当センターも毎年、看護協会の「ふれあい看護体験」に協賛し高校生を受け入れています。7月28日に開催した今年の「ふれあい看護体験2011」には、企業訪問の職場体験を兼ねた申し込みもあり、例年の2倍に近い57名の参加がありました。内容も今年は、病棟での看護業務だけでなく、血压測定や手洗いなどの実技も体験してもらいました。

最初に、看護部長が当センター看護部のコンセプト「温かい手」・「確かな目」・「ゆとりのある耳」をもって活動している看護部や、今年度開設される新外来棟（周産期センターを含む）の話をして、その後、病棟での看護体験と院内見学を含む演習をグループに分かれて実施しました。手洗い演習を経験し、「看護師という職業にとって、手はとても大切なものであることがわかりました。」という声や、血压測定を体験した学生からは、「血压測定の脈の音が聞き取りにくかったですが、脈の音が聞こえた時は、体のしくみをもっと知りたいと興味がでました。」などの感想がありました。

病棟での看護体験からは、「看護の仕事は充実していて、患者さんの笑顔を見ることができ、看護師になりたいという意志が強くなりました。」「私も将来は看護師になりたいと思っています。看護体験を通して、私も周りが良く見え、行動力のある人になりたいと思いました。」などの声があり、看護師への希望も高まったようでした。

最後に、近隣の国立病院機構の看護学校の紹介も含めて、進路指導を行いました。若い看護師の卵達が、今日の感動を忘れず、元気に育ってほしいと願っています。



診療科名		月	火	水	木	金
内科 (内分泌科) フット:フットケア外来	午前	①新 小田 賀明 ②再 小出 純子	①新 小田 賀明 ②再 大江 健	①新 大江 健 ②再 小田 賀明	①新 小出 純子 ②再 大江 健	①新 大江 健 ②再 小田 賀明
	午後	①新 小田 賀明	②再 大江 健	②再 小田 賀明	②再 大江 健	②再 小田 賀明
神経内科		①新 野田 公一 ②再 野田 公一	①新 野田 公一 ②再 野田 公一	①新 野田 公一 ②再 野田 公一	①新 野田 公一 ②再 野田 公一	①新 野田 公一 ②再 野田 公一
呼吸器科		①新 重藤 えり子 ②再 村上 功治 ③再 増田 憲治	①新 重藤 えり子	①新 吉光 成児 ②再 重藤 えり子	①新 増田 憲治 ②再 重藤 えり子 ③再 村上 功	①新 村上 功 ②再 増田 憲治 ③再 吉光 成児
消化器科		後藤 栄造 鬼武 敏子	竹崎 英一 笹尾 昌悟 和田 慶洋	井上 基樹 鬼武 敏子	和田 慶洋 笹尾 昌悟	後藤 栄造 井上 基樹
循環器科		①新 小野 裕二郎 ②再 城 日加里 ③再 佐田 良治	①新 ②再 佐田 良治 ③再 柳原 薫 ④再 小野 裕二郎	①新 小野 裕二郎 ②再 柳原 薫	①新 ②再 佐田 良治 ③再 原 幹 ④再 城 日加里	①新 城 日加里 ②再 小野 裕二郎 ③再 (佐田 良治)
小児科		下田 浩子 今井 清香 上野 哲史 【担当医】	下田 浩子 佐伯 哲也 須藤 哲史 【担当医】	下田 浩子 須藤 哲史 今井 清香 【担当医】	下田 浩子 須藤 哲史 上野 哲史 【担当医】	下田 浩子 佐伯 哲也 今井 清香 【担当医】
外科		石田 伸樹 池田 昌博 壽美 裕介 手術日	高橋 忠照 豊田 和広 貞本 誠治 (脳神経外科にて) 中谷 玉樹 倉吉 学 石田 / 中野	高橋 忠照 石田 伸樹 貞本 誠治 手術日	豊田 和広 中谷 玉樹 中野 亮介 手術日	高橋 忠照 池田 昌博 壽美 裕介 (整形外科にて) 倉吉 学 (脳神経外科にて) 中野 亮介
	整形外科	岸 和彦 今田 英明 田中 隆治	岸 和彦 今田 英明 渋谷 早俊	岸 和彦 田中 隆治 手術日	岸 和彦 田中 隆治 渋谷 早俊	今田 英明 渋谷 早俊 手術日
脳神経外科	勇木 清隆 貞友 政志	手術日	右田 圭介 今田 裕尊	勇木 清隆 今田 裕尊 栗原 政志	右田 圭介 貞友 隆	
呼吸器外科	手術日	赤山 幸一	柴田 諭	手術日	柴田 諭	
心臓血管外科	森田 悟	手術日	許 吉起	森田 悟	水田 真司	
皮膚科		仁熊 利之 糸谷 友里	仁熊 利之 糸谷 友里	(第1・第3) 仁熊 利之 糸谷 友里 (第2・第4) 仁熊 / 糸谷 岡部 勉	仁熊 利之 糸谷 友里	仁熊 利之 糸谷 友里 手術日
	眼科(休診)					
耳鼻咽喉科	杉本 一郎 大林 敦人	杉本 一郎 大林 敦人	杉本 一郎 大林 敦人	杉本 一郎 大林 敦人 手術日	杉本 一郎 大林 敦人	
歯科	新後 眸			新後 眸		
緩和ケア外来	緩和ケア外来は、第1・第3木曜日の14時から16時まで			【担当】		
2階	泌尿器科	藤原 政治 永松 弘孝	藤原 政治 永松 弘孝	藤原 政治 永松 弘孝	藤原 政治 永松 弘孝	相模 浩二 手術日
	婦人科 (予約制)	小松 正明 手術日	小松 正明	小松 正明 手術日	小松 正明	小松 正明

受付時間 8時30分～11時30分 診察時間 8時30分～17時15分 ※救急患者様は随時診療いたします。

ただし、手術のため、木曜日の耳鼻咽喉科は9時30分まで、金曜日の皮膚科は10時30分までの受付時間となります。

歯科(入院応需)は臨時的に診察曜日が変更となることがあります。

予約受付 再診患者様につきましては、受診時に次回の診察予約ができます。また、定期的に受診されている場合には、電話での予約も可能です。

電話 (082)423-1489 (平日8:30から17:00)

婦人科予約 婦人科については全て予約制なので初診の方も予約してください。

診療日 月曜日～金曜日 (土曜日・日曜日・休日・年末年始は休診となります。)